

## 戴帽式

平成 30 年 10 月 12 日(金) 看護学科 3 年課程 1 年生の戴帽式が厳かに執り行われました。



戴帽式当日まで、学生が主体となって何度も練習をし、この日を迎えました。

芸術講師(華道)の深澤先生が素敵なコサージュを作ってくれました。



私たちは灯火の前で白いナースキャップをいただき看護の道を志す決意を表明しました

戴帽式は、ナイチンゲールの看護の心と教えを灯に受け継ぎます。



クラスメートと考えた私たちの“誓いの詞”家族、上級生、看護師の先輩、支えてくださる関係者の皆さまの前で、看護師を志す決意と、支えてくださる皆さまへの感謝の気持ちを表明しました。

### 戴帽式を終えて

戴帽式では日頃の練習の成果が発揮できました。キャッピングからキャンドルサービスまで全員の気持ちが一つになって成功し、とても感動しました。このクラスで3年間学び、全員で国家試験合格できるようにしたいです。誓いの詞の唱和していた時、祖母が泣いているのが見え祖母に感謝の気持ちとともに、これからも成長を見守っていてほしいです。 Y. I

戴帽式を通して看護師になりたいと思ったきっかけ、この学校に入学した理由、理想の看護師像など自分自身について見つめ直しました。そして改めて看護師になりたいではなく、なるという強い志をもつことができました。戴帽式を終えて、達成感に満たされています。来賓の方よりいただいた「察する力」を今後磨いていきたいです。 M. K

ナースキャップをいただき“人の命にたずさわる重大さ、責任の重さ”を強く感じました。これから先、辛いことや苦しいことがあった時は戴帽式を思い出し、乗り越えていこうと思います。仲間がいること、家族がいること・先生方がいることに感謝です。 O. A

